



# のとひこニュース

(能登川彦根線)

発行・編集 / 滋賀県湖東地域振興局

〒522-0071 滋賀県彦根市元町4番1号

発行・担当: 道路計画課

TEL(0749)27-2246 FAX(0749)23-3531

E-MAIL: ha3405@pref.shiga.jp

ご意見、ご要望  
はこちらまで

第4号

平成16年3月発行

みんなでいっしょに  
考えよう!!

最終号だよ



## Cルートに決定しました!!!

『第4回のとひこ道づくり協議会』の報告  
(1月30日 PM 19:30~21:30 愛知川町役場)

- 各部会からの報告
- ルート案の比較検討

『第5回のとひこ道づくり協議会』の報告  
(3月12日 PM 19:30~21:00 愛知川町役場)

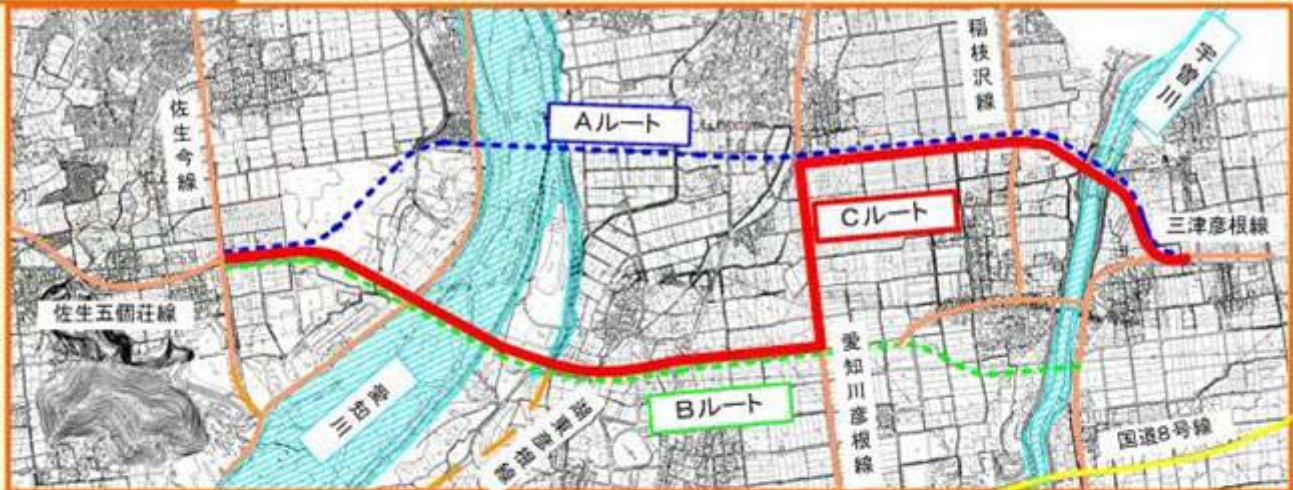
- 彦根部会からの報告
- ルート案の比較検討及び  
最適ルートの決定

第4.5回の協議会では、A・B・C  
の3つのルート案を比較検討し、  
どの案が最適であるか、活発な  
議論が行われました!



協議会の様子

### 最適ルート案



第4回協議会では、それぞれのルート案について整備効果や安全性、経済性などの評価指標による比較検討を行いました。ルート一本化には至らず、再度地域の中で意見調整を行うこととなりました。

この結果を踏まえ、第5回の協議会では改めて全体の協議・調整を行い、総合的に判断してCルートを最適案とすることで合意しました。

各ルートの特徴と主な意見は裏面にまとめています。





各ルートの特徴と主な意見

▲ルートも、Bルートもそれぞれ避けられない問題があったんだね。

みんなが納得する形でルートの決定をしないといけないからね。そのため協議会なんだよ。

橋梁区間が短く経済的ではあるものの、圍場整備の問題(仮換地)があるため、通過は困難である

三津彦根線と自然な形で接続でき、安全だ。

今ある現道を有効に利用出来る。

橋梁区間の整備により、早期の効果が発現できる。

もともと深い圍場整備事業の予定区域であり、これ以上面積が減っては、事業が成り立たない。

Cルートであれば、各地域の問題が回避できるので、事業に対する地域の協力が得られるだろう。

Cルートは、愛知川彦根線を利用したクランク形状となるが、当初の目的である「御幸橋の渋滞緩和と湖東と東近江地域の連携強化」に対して一定の効果が見込めるだろう。

協議会では、上図にあるような様々な意見を総合的に判断して、Cルートが最適であるとの結論に至りました。

ただし、バイパス整備後に集落内の抜け道交通が懸念されるため、今後とも地域のご意見をお聞きしながら、対策を考えていく必要があります。

協議会及びびーグループでは地域代表の方々に大変お世話になりました。事業推進のために、今後とも協力をあねがいしま〜す!

